

実施日 令和3年 5月 29日 ~ 5月 30日

事業名 第76回国民体育大会岩手県代表選考会兼令和3年度岩手県選手権水泳競技大会

記載者 一ノ倉 眞吾

事業内容や結果

- ・県学童新2つ、県中学新4つ、県高校新1つ、県新2つと好成績が生まれた大会となりよかった。
- ・新型コロナウイルス感染症の防止を考慮した大会運営となった。今回の大会が完成形ではないと思うが、選手の導線やタイムテーブル等、よく考えられた大会であったと思われる。
- ・看護師中村さんがいてくれたおかげで、過呼吸の選手の対応もすぐにできた。とてもありがたい。
- ・競技役員の皆様や総合プールの職員の皆様にはとても協力していただきました。ありがとうございます。

反省や今後の課題

- ・棄権用紙の提出は、今回の大会では出さずに招集所に来なければ棄権扱いとしたが、いつもどおり提出してもらったほうが良いと思った。招集所にせっかく集まったのに予選の必要がなくなったから戻ってくださいというケースが2レースあった。これは改善の必要があると思う。
- ・開場時間にプール入口に約200名ほど集まる状況が生まれてしまった(2日目)。改善の必要を感じた。(入場・アップを所属ごとに分けるなど)各スイミングスクールのコーチ達はたくさん大会を経験しているので、いろいろな情報を聞くことができればと思う。
- ・新型コロナウイルスの対応で休校となっている感染していない選手の棄権は仕方ないと思うが、その兄弟も出場できないのは何とかしてあげたいと感じた。学校に登校している場合は出場を認める方向でいければと思う。※必ず教育委員会の指示をあおいで登校しているはずなので。

(写真、結果表を別途添付してください。)